

取組1 「探究と協同の学び」の授業づくりの推進

〈取組の概要〉

① 「探究と協同の学び」の充実研修会 の開催

- ・市教委主催の年3回の授業研修会（大学教授を講師として招聘）
- ・3つの各中学校区で年1回、すべての教員が参加



② 「探究と協同の学び」推進教師の活用

- ・年度初めに授業提供することによる目指す授業像の共有
- ・学校・異校種を問わない日常的な授業提供

③ パイロットスクールの活用

- ・市教委指定の小中各1校による自主公開を含めた積極的な公開授業（初任者参観悉皆）



④ 市学力向上マネジメントアドバイザー（MA）の学校支援

- ・MAによる各校への定期訪問（各校年4回）
- ・全教員の授業通覧後、校長・教頭等への指導助言
- ・MAの学校訪問指導に、各校の学力向上担当が帯同し、他校の授業づくりを学び、自校へ還元

ここがポイント

○研修会

○推進教師・パイロットスクールの授業提供

目指す授業像共有
水平展開

毎日の「探究と協同の学び」の授業改善

○MA訪問 → 授業改善のアクセラ

「探究と協同の学び」
水平展開

取組2 「確かな学力の育成・向上」を図る小小連携・小中連携

〈取組の概要〉

① 事務所指導主事学校訪問指導における授業づくり研修（年2回）

- ・自校における協働による授業づくり
- ・他校指導主事学校訪問指導での授業参観及び事後検討会への参加（校種問わない）



② 中学校区ごとの授業づくり研修

- ・市教委主催の各中学校区の授業づくり研修会（年1回）へのすべての教員参加
- ・学校独自開催の中学校区内の他校の授業づくり研修への参加

③ 全国学力・学習状況調査に係る研修（年2回）

- ・文部科学省国立教育政策研究所学力調査官・教育課程調査官（国語・算数）を講師として招聘
- ・調査問題の意図の理解と分析を授業づくりへ還元

④ 中学0年生プロジェクト

- ・小6の中学校での授業体験（同じ中学校区の複数校の小6を仮編成）
- ・中学校教員による小6への授業（通年 同じ中学校区の小学校で同一の中学校教員が指導）



⑤ 学校運営協議会連絡会（中学校区における学校運営協議会組織）

- ・同じ中学校区の学校運営協議会で地域・保護者の連携

ここがポイント

小小・小中連携教育
目指す「15歳の姿」の共有

教職員連携・交流
取組①②③

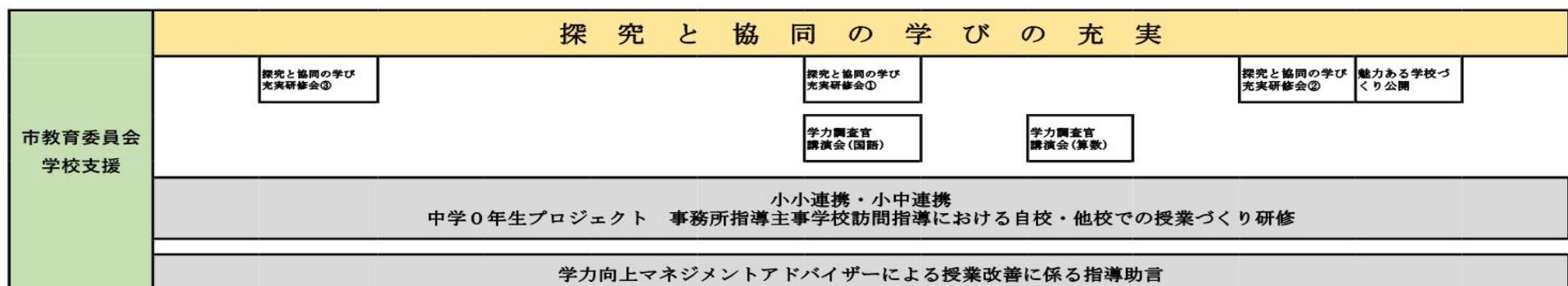
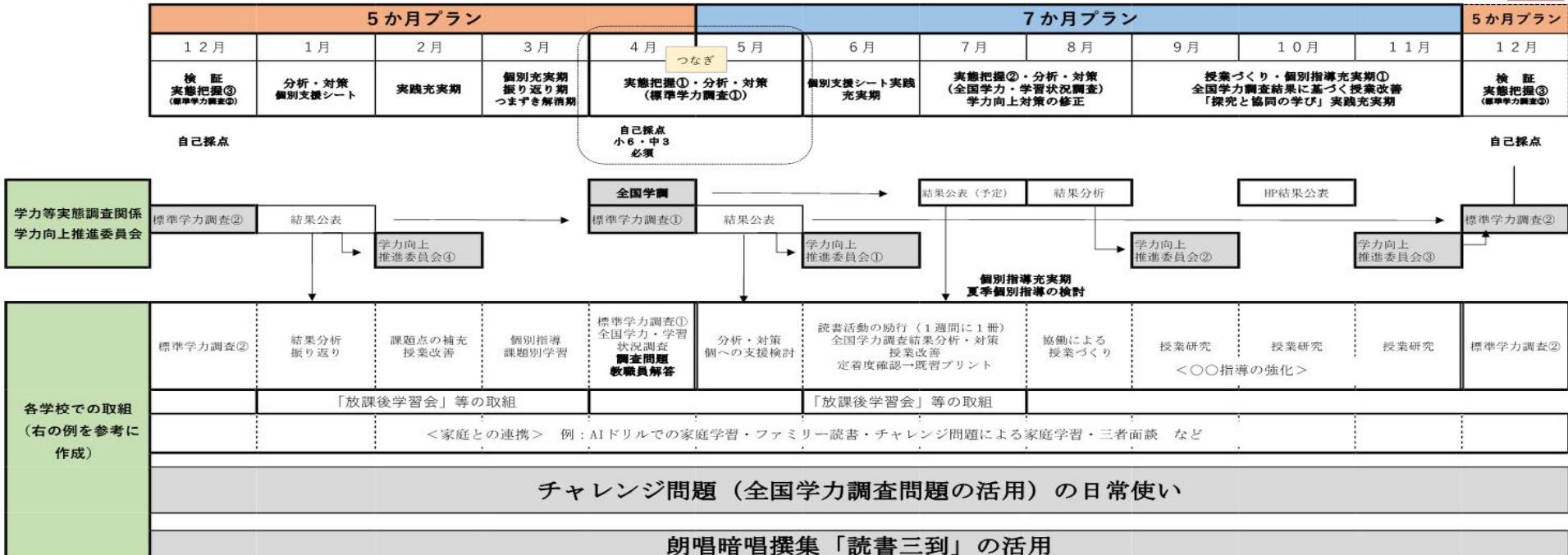
児童生徒連携・交流
取組④

教育課程連携・交流
取組①②③④

地域・保護者との連携・交流
取組⑤

取組3 学力保障のR-PDCAサイクル「5か月プラン」・「7か月プラン」

令和7年度 東松島市教育委員会 「5か月プラン」・「7か月プラン」 全体構想（学力保障のR-PDCAサイクル）



取組4 学びの支え

〈取組の概要〉

① 学力の土台づくり

- ・朗唱暗唱撰集「読書三到」の活用
- ・ファミリー読書の推奨
- ・授業と連動した家庭学習の充実
- ・AIドリルの活用

② 望ましい生活習慣の確立 「令和版心あったかイートこころ運動」

- ・「あいさつ・清掃・ゴミ拾い」（心を育む3つの取組）
- ・「でめこん（デジタルメディア・コントロールチャレンジ～東松島ゴール～」
(生活を整える1つの実践)
- ・「子ども未来サミット」での小中連携した児童生徒による話合い

市内小中学生が取り組む デジタルメディア・コントロールチャレンジ「東松島ゴール」

- ① 平日のデジタルメディア使用時間（家庭学習や調べもの等での使用を除く）

小学生低学年（1～3年生）	：1時間
同 高学年（4～6年生）	：1時間
中 学 生（全学年）	：1時間程度
- ② 平日のデジタルメディア使用終了時刻

小学生低学年（1～3年生）	：午後8時
同 高学年（4～6年生）	：午後8時30分
中 学 生（全学年）	：午後9時
- ③ 平日の就寝時刻

小学生低学年（1～3年生）	：午後9時
同 高学年（4～6年生）	：午後9時30分
中 学 生（全学年）	：午後10時

※休日の使用時間、使用終了時刻、就寝時刻については、各家庭で話し合い決定する。

(令和4年5月17日決定)

